

## 第5章 ベンチャー支援部門の活動

### はじめに

ベンチャー支援部門長 野 嶋 琢 也

2019年度の年報を刊行するにあたり、電気通信大学ベンチャー支援部門における各種活動への関係各位のご理解とご協力を心から感謝します。

大学では日夜新しい技術やサービスが生み出されています。そして新しい技術やサービスを社会に還元するためには、現代あるいは少し先の未来の社会を念頭に、その社会に適合する形に育てることが必要となります。スタートアップ企業には、そのような技術・サービスを、社会経済活動に乗せ、持続的に大きく育てるという重要な役割が期待されています。このような活動に対して本部門は、大学という特性を活かし、人材ならびに環境という側面から支援をおこなっています。

まず人材育成の観点から、教育面に力を注いでまいりました。技術・サービスを育てる意欲・技術力を有する人材育成を目標に、『ベンチャービジネス概論』（学域）、『ベンチャービジネス特論』（研究科）という講義を開催し、学生に起業に関する知識を伝え、起業意欲を刺激してきました。そして環境面としては、起業準備をする教員・学生に対するプレインキュベーションルームの提供、電通大発ベンチャー企業に対してはベンチャー育成支援ルームを提供しています。そしてUECアライアンスセンターには、インキュベーション施設で各々の事業を発展させた電通大発ベンチャー企業が多数入居しています。これにより企業活動を行うための場所を提供し、先端研究と企業活動が出会う機会を整えるということを通じて、スタートアップ企業の活動を支援しています。

また本部門では、「産学官連携 DAY」にて『UECものづくりコンテスト』を開催しています。同コンテストでは、学生や教員と企業とが出会う機会を整えることを狙い、協賛企業と参加者がともにものづくりに関わることができるような仕組みが導入されています。

本年報では、本部門の活動目的となるアントレプレナーシップ人材の育成、本学発の研究成果を活用したベンチャービジネスを創出するインキュベーション支援の2019年度の活動について、ベンチャー教育及びベンチャー支援の2面から報告します。今後も、学生のベンチャーマインドの育成、電通大発ベンチャーの創出・支援に努めてまいります。引き続きみなさまからのご協力をよろしく願いいたします。

#### ●ベンチャー支援部門の報告

ベンチャー支援部門の活動目的は、アントレプレナーシップ人材の育成、本学発の研究成果を活用したベンチャービジネスを創出するインキュベーション支援である。2019年度に実施したベンチャー支援部門の活動について、ベンチャー支援およびベンチャー教育の2面から報告します。

### 5-1 ベンチャー支援

#### 5-1-1 電気通信大学認定ベンチャー企業等一覧（決算月の順）

No	企業名	代表者
1	(株) スマート エーイー	鎌倉 友男
2	(株) ナノテコ	
3	(株) MNU	雪本 修一
4	(株) ワイヤレスコミュニケーション研究所	尾崎 鋭一
5	(株) 早川地震電磁気研究所	早川 正士

6	(株) ChiCaRo	山内 直子
7	群青デザインシステムズ合同会社	伊賀井 清史
8	ACH2テクノロジーズ(株)	清水 巖
9	(株) MTMシステムズ	城野 遼太
10	(株) CodeNext	Khan Md. Mahfuzus
11	(株) ビー・ストーム	志村 則彰
12	感性AI(株)	虻川 勝彦
13	NPO法人uecサポート	安部 博文
14	TCC Media Lab(株)	菊池 功
15	(株) メルティンMMI	粕谷 昌宏
16	(株) ハートビーツ	藤崎 正範
17	(株) voiceware	田村 一起
18	(株) キャンパスクリエイト	安田 耕平
19	対話型メディア技術研究所(株)	佐藤 暖子
20	(株) Photonic System Solutions	増川 佐知子
21	レッドインパルス(株)	高橋 健
22	(株) Dream Seeds Connect	吉木 祐三
23	(株) インフォクラフト	荒川 淳平
24	プラスワッチ(株)	日下部 正秋
25	(株) Mu-BORG	横井 浩史
26	(株) インターメディア研究所	吉田 健治
27	マルチポート研究所LLP	矢加部 利幸
28	Umee Technologies(株)	新納 弘崇

#### 5-1-2 電気通信大学認定ベンチャー企業等の成果

本学発ベンチャー認定企業28社の2019年度の売上高合計は、14億円である。雇用者数の合計は、161名です。

#### 5-1-3 認定ベンチャー企業を中心とする情報共有会議 UEC\_VentureMeeting

数か月に一度、認定ベンチャー企業のメンバーが顔を合わせて情報交換を行っている。時にはゲストをお招きして専門分野の知見を学ぶ機会としています。



▲ 2020年2月の電気通信大学認定ベンチャー等会の様子。

#### 5-1-4 UEC 産学官連携 DAY における認定ベンチャー企業の連続プレゼン

日 時 2019年6月19日(水) 13:15 ~ 14:45

場 所 東4号館2階201教室

参加者数 20名

登壇企業数 7社

1. 株式会社インターメディア研究所 (2015年度認定)
2. 株式会社ハートビーツ (2009年度認定)
3. 株式会社B-STORM (2017年度認定) UECアライアンスセンター入居企業
4. 株式会社Photonic System Solutions (2010年度認定) UECアライアンスセンター入居企業
5. マルチポート研究所有限責任事業組合 (2007年度認定) UECアライアンスセンター入居企業
6. 特定非営利活動法人 uecサポート (2018年度認定) 電気通信大学インキュベーション施設入居企業
7. レッドインパルス株式会社 (2016年度認定) 電気通信大学インキュベーション施設入居企業

方 法 1社10分、スライドを用いた自社紹介ライトニングトーク

## 5-2 ベンチャー教育

### 5-2-1 UECものづくりコンテスト2019

コンテストは6月19日（水）に開催した。コンテストの目的は、協賛企業様、学生、教員が出会い新しい取り組みを始めるきっかけを作ることである。7月10日（水）に表彰式と交流会を行いました。

#### <UECものづくりコンテスト2019 審査結果>

##### (1) 大学表彰

###### 優秀賞（30万円）

『光るアクセサリーのための身につける無線給電システム』

福本 有季子（情報理工学域I類（情報系）4年）

加藤 敬太（情報理工学域III類（理工系）4年）

松本 彩奈（武蔵野美術大学空間演出デザイン学科2年）

須藤 里彩（武蔵野美術大学デザイン情報学科3年）

###### 奨励賞（10万円）

『電気の様子が手に取るようにわかる学習ツールの開発』

岸田 聖生（情報理工学研究科情報学専攻博士前期1年）

###### 入賞（5万円）

『共同生活感を利用した新しいスマートホームシステム』

山根 大輝（情報理工学域I類（情報系）3年）

山本 亮太（情報理工学域I類（情報系）3年）

『ドップラーセンサーを用いた出会い頭事故防止デバイス』

大谷 孟宏（情報理工学域II類（融合系）2年）

高 優斗（情報理工学域II類（融合系）2年）

###### 観客賞（10万円）

『デジタルサイネージ機能を備えたスマートゴミ箱』

佐藤 海斗（情報理工学研究科機械知能システム学専攻博士前期1年）

小木曾 聖（情報理工学部先端工学基礎課程4年）

##### (2) 協賛企業賞表彰

###### 株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ賞

『音声認識を用いた電話注文の自動応答システム』（賞金10万円）

中新井 田覚志（情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻博士前期1年）

長坂 恭輔（情報理工学研究科基盤理工学専攻博士前期2年）

『転がるエンターテインメントロボット「びころ」』

- 阿部 涼（情報理工学域Ⅱ類（融合系）4年）（賞金 10万円）
- 足立 博紀（情報理工学域Ⅱ類（融合系）3年）
- 小林 隼矢（情報理工学域Ⅱ類（融合系）3年）
- 池澤 隆人（情報理工学域Ⅱ類（融合系）2年）
- 中山 翔太（情報理工学域Ⅰ類（情報系）2年）

『光るアクセサリ-のための身につける無線給電システム』（賞金 10万円）

- 福本 有季子（情報理工学域Ⅰ類（情報系）4年）
- 加藤 敬太（情報理工学域Ⅲ類（理工系）4年）
- 松本 彩奈（武蔵野美術大学空間演出デザイン学科2年）
- 須藤 里彩（武蔵野美術大学デザイン情報学科3年）

**FIG 株式会社賞**

『電気の様子が手に取るようにわかる学習ツールの開発』（賞金 10万円）

- 岸田 聖生（情報理工学研究科情報学専攻博士前期1年）

『音声認識を用いた電話注文の自動応答システム』（賞金 10万円）

- 中新井田 覚志（情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻博士前期1年）
- 長坂 恭輔（情報理工学研究科基盤理工学専攻博士前期2年）

**株式会社クレスコ賞**

『転がるエンターテインメントロボット「びころ」』（賞金 10万円）

- 阿部 涼（情報理工学域Ⅱ類（融合系）4年）
- 足立 博紀（情報理工学域Ⅱ類（融合系）3年）
- 小林 隼矢（情報理工学域Ⅱ類（融合系）3年）
- 池澤 隆人（情報理工学域Ⅱ類（融合系）2年）
- 中山 翔太（情報理工学域Ⅰ類（情報系）2年）

**ソフトブレン株式会社賞**

『原稿テキストを表示するプレゼン向け空中ディスプレイ』（賞金 20万円）

- 土谷 慧（情報理工学研究科情報学専攻博士前期1年）
- 眞田 華道（情報理工学研究科情報学専攻博士前期1年）

『拡張現実とピクトグラムを用いた観光支援システム』（賞金 10万円）

- 佐々木 諒（情報理工学研究科情報学専攻博士前期1年）

**ネクストソリューション株式会社賞**

『拡張現実とピクトグラムを用いた観光支援システム』（賞金 10万円）

- 佐々木 諒（情報理工学研究科情報学専攻博士前期1年）



**株式会社朋栄ホールディングス賞**

『水を用いたテーブルトップ型シューティングゲーム』（賞金 10万円）

- 三村 巧（情報理工学域Ⅱ類（融合系）3年）
- 清水 大輝（情報理工学域Ⅰ類（情報系）2年）
- 浅見 徳哉（情報理工学域Ⅱ類（融合系）2年）
- 西村 龍之介（情報理工学域Ⅰ類（情報系）2年）
- 中山 翔太（情報理工学域Ⅰ類（情報系）2年）
- 山口 彩（武蔵野美術大学造形学部デザイン情報学科3年）
- 池田 苑夏（武蔵野美術大学造形学部デザイン情報学科2年）

『自分だけの『空』をつくる』（賞金 10万円）

- 小栗 一真（情報理工学域Ⅰ類（情報系）3年）

**株式会社B-STORM賞**

『光るアクセサリーのための身につける無線給電システム』（賞金 10万円）

- 福本 有季子（情報理工学域Ⅰ類（情報系）4年）
- 加藤 敬太（情報理工学域Ⅲ類（理工系）4年）
- 松本 彩奈（武蔵野美術大学空間演出デザイン学科2年）
- 須藤 里彩（武蔵野美術大学デザイン情報学科3年）

**5-2-2 ベンチャービジネス (VB) 特論・概論**

ベンチャービジネス特論は大学院博士前期・後期課程の学生を対象に前学期に実施するキャリア教育科目に位置付けられる授業である。授業の目的は受講生に企業家精神やマネジメント知識を伝えることである。

ベンチャービジネス特論（前期2単位） 博士前後期対象 142名

ベンチャービジネス概論（前期2単位） 学部3年生対象 144名

教員は安部博文特任教授である。



▲ 2019年7月のベンチャービジネス特論の授業風景